啐啄同機

若松原中学校学校だより
第８号
令和６年１０月１１日
発行者　　永井高穂

令和６年度スローガン　「挑み　鍛え　前へ」

上記ＱＲコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

秋冷の候

令和６年度も来週で１学期が終了しようとしています。この１学期を振り返り、生徒の確かな成長を実感されているでしょうか。少しずつ中学生としての自覚が感じられるものの、幼い言動が目立つ１年生。学校生活の中核を担う自覚がでてきたものの素直さが生意気さに変わり、けじめがつかない生活が見られる２年生。受験生という自覚が少しずつ見え始めたものの，まだまだ落ち着かず学習に集中できない３年生。子どもの成長として、当たり前の成長ではあるものの、大切なのはその時その時の大人の対応です。時、場所、目的、状況などを考えた上で、自覚が必要だったり、素直さが必要であったりすることを教えていく必要があります。中学生はまだまだ子供です。諭すなどして教え分からせることが子どもに関わる全ての大人に求められます。教えるべきことは教え，自分で判断し行動できる生徒，その上で自分の言動に責任を取れる生徒を育てましょう。

薬物乱用防止教室『すばらしい明日のために… 違法薬物「買わない」「使わない」「かかわらない」』

９/２５（水）に薬物乱用防止教室を開催しました。今年は，劇団三十一計による演劇を鑑賞しました。違法薬物を使用することは犯罪です。犯罪と言うことだけでなく，違法薬物は，身の回りの人を悲しませ，苦しませ，自分の命をもむしばみます。人間関係を壊したくなく，誘惑に負けそうになることもありますが，『断る勇気』をもって，自分だけでなく，自分の身の回りの人も悲しませないことが大切です。

避難訓練（不審者対応）　10/1

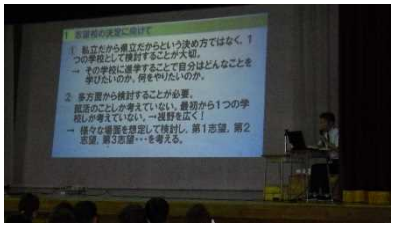
不審者対応の避難訓練を実施しました。不審者が校舎内に侵入したことを想定し，生徒たちは教室の入り口の扉のカギを施錠（せじょう）し，教室の中ではバリケードを作って，窓側に集まって伏せて不審者の確保を待ちました。また，先生方は，暴れる不審者をさすまたを使って取り押さえました。

いざという時に恐怖やパニックに陥らないために普段から何をすべきか理解し，訓練通りに冷静に行動することで命を守ることができます。ご家庭でも命を守るためにはどうしたらよいかを話題にしていただければと思います。

生徒会立会演説会　9/27

生徒会立会演説会が行われました。令和７年度後期の生徒会役員選挙立候補者は，１，２年生から選びます。会長候補者６名，副会長候補者６名が，「こんな若中にしたい」との思いから，それぞれの公約を発表しました。

高校入試説明会　10／4



3 年生を対象に高校入試説明会を実施しました。今年から，私立高校の先生は呼ばずに，進路指導主事が私立高校受験について説明を行うことにしました。特に宇都宮市内の私立高校ではインターネットでの出願になるため，出願の仕方や一般，推薦などといった入試の種類などについて確認するとともに，県立高校入試についても手続きや試験の種類について説明しました。生徒一人一人が進路選択にあたって，情報を収集し，生徒自身の意思で進路を決定し，その実現に向けて努力・準備してください。10／31（木）から始まる三者懇談で受験する高校について相談させていただきます。

交通安全教室　10/7

2 回目の交通安全教室を実施しました。今回はあいおいニッセイ同和損保(株)による自転車安全運転講習会を実施しました。若中近辺の危険箇所や交通事故が起きた時の注意点、交通ルール、事故が起こりやすい場合等，たくさんの学びがありました。命の大切さ，自分の命，人の命を守るために，いつも気を付けて生活しましょう。2023 年 4 月から自転車のヘルメット着用が努力義務となっています。登下校の自転車通学の時だけではなく，自分の命を守るためにも自転車に乗るときは，ヘルメットを着用しましょう。

おにぎりの日　10/8

１０／８（火）はおにぎりの日でした。生徒は思い思いの手作りのおにぎりを持参しました。自分で作ってきたおにぎりの味は格別で，笑顔で会話も弾む給食でした。

学校＝「内面を磨く」＝修養

余計なものを持ってくる生徒がいます。ガム、あめなどの食べ物やスマートフォン等の授業に関係のないものを持ってきています。見つからなければよいという態度はよくありません。「学校は自分磨きの場」「公の場」という意識をもち，TPO に応じた対応を身に付けさせましょう。義務教育期間は、学問を修め、心を磨き、人格を作り，高める時期です。

ただ楽しければよいというわけにはいきません。規範意識と向上心を持たせましょう。